

今泉 清氏 (ラグビー) 招き講演会

平成24年新年賀詞交歓会を開催

205名が参加し和やかに懇親深める

平成24年新年賀詞交歓会及び講演会は、1月18日午後3時30分から名古屋国際ホテルにおいて開催された。

「自分の本来ありたい姿」が原点



講師の今泉 清氏

講演会は講師に、ラグビー元日本代表の今泉清氏を招へいし、演題「未来思考が最強組織を創る」～GROW共有型マネジメントで骨太のビジネスアスリートを創る～を聴講した。

講師はラグビーを通じて培ったもの学んだことを、企業における「組織開発」「人材育成」に活用し、いかにしてバラバラな気持ちをひとつにして、同じ目標に向けて進んで行くかをアプローチ。チームの規律・姿勢が雌雄を決する～これは百戦錬磨の中で講師が経験したことで、規律・姿勢がきちりしているチームは、試合前に勝利を感じさせる。また強いチームは、戦術を試合の流れの中でリアルタイムに変えて行

ける。それにはコミュニケーションが欠かせず、声が出なくなった時には、その時点で勝ちを諦めた事を意味する～など、ラグビーでの実体験を語った。

一方脳科学にふれ、これは自分が思っている事が現実になるというのが前提で、イメージトレーニングと脳の判断を解析し、実際に会場で「Oリングテスト」を2人1組になって体験し、イメージと力の関係を学んだ。

また、「自分の本来ありたい姿」を明確にするために、これを『GROW』モデルでコーチング。『GROW』は、G = Goal (最終目標)、R = Reality (現状)、O = Option (最終目標と現状のギャップ)、W = Will (いつから始めて、いつ達成できるか) の意。最終目標に対して、現在どこまでできているか、そのギャップをうめるためにどう修正していくか…これがひとつのサイクルで、企業で言えば「PDCAサイクル」



Oリングテストを実践

に該当する。自分自身のセルフコーチングをしてから、周りを巻き込んで行くスタイルで、これによって集団の共通認識が生まれる」と説いた。

早稲田ラグビーチームの理念は「ラグビーを通して、世の人に勇気と感動を伝える」。コーチ時代、チームは早稲田最強時代を迎え覇者となるのは確実視されていたが、目に見えない伸びが克服できず、敗戦を喫した苦い体験も語られた。

最後にチーム運営、会社経営において「本来の自分のあり方を全うする人材をつくり上げること」、それが最強のチーム・集団を形成する決め手になる事が強調され、結ばれた。

新年賀詞交歓会は、午後5時から鈴木総務委員長長の司会により進行され、大松副会長の「夢を持って、良き明るい年に」との開会の挨拶に続いて、後藤会長が挨拶に立った。

後藤会長は、講演会で「パワー」をもらう事ができた。自身を振り返ってみると、夢を持ってずに悪循環なことは、他人に責任を転嫁してきた様な気がする。また、自身がイメージして取り組むファイトが不可欠である事を再認識した旨述



乾杯が行われる新年賀詞交歓会



挨拶をする後藤会長

べた。また、併せて10月に開催予定の「名古屋プラスチック工業展」の成功に向けて、会員の協力をお願いしたい旨強調された。

次いで、来賓が紹介されその中で、寺西學元愛知県議会議員、正木朗中部経済産業局産業部担当次長、吉田英生愛知県産業労働部地域産業課課長ら三氏が祝辞を行った。

続いて下山浩司名古屋市市民経済局産業部産業経済課課長の乾杯の発声で、祝宴に入った。ステージでは「アロハスターズ」の演奏も行われ、福引きも楽しく進められ、愛知県プラスチック成形工業組合児玉理事長の中締めでお開きとなった。



福引で特賞を当てた森和機械竹本氏

射出成形を
トータルサポート

NISSEI 射出成形機・金型・複合材料・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■東海営業所 / 〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL.(0568)75-9555(代)
■岡崎出張所 / TEL.(0564)52-1430
■本社・工場 / 〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL.(0268)81-1050

MATSUI
in search of rapport

株式会社 松井製作所

名古屋営業所 〒457-0831 名古屋市南区荒浜町5-8

tel:052-614-2601(代) fax:052-614-2626

●本 社 tel:06-6942-9555(代) ●東京本社 tel:03-5992-3191(代)

<http://www.matsui-mfg.co.jp/>

連合会新年賀詞交歓会 当協会から8名参加

1月24日午後5時より東京の八重洲富士屋ホテルにおいて、全日本プラスチック製品工業連合会平成24年新年賀詞交歓会が、関係官公庁、業界関係団体、報道関係そして各地区協会会員など総勢80余名の参加を得て盛大に開催された。当協会からは8名が参加した。

最初に五十嵐会長から新年の挨拶があり、「本日はご多用にも係りませず、経済産業省化学課の皆様をはじめとして、関連諸団体様並びに多くの会員の皆様にご参加賜りまして、誠に有難うございます。さて、昨年1年を振り返って見ましょう。2月から3月にかけて中東の混乱で原油価格が高騰、原材料価額も高騰。3月には東日本大震災が発生、東北の生産拠点が被災し、サプライチェーンが寸断、3ヶ月間は殆ど仕事がなく、更に7月から9月まで計画停電やピーク時電力の15%カット実施。為替は超円高に振れて輸出企業の採算が悪化、国内産業の空洞化を加速。9月にはギリシャを皮切りにEU諸国の債務問題が発生。10月にはタイで洪水被害が発生、多くの日系企業に被害拡大。結果、昨年は多くの災難と経済変動に見舞われた1年でした。一方、ナフサ非課税の恒久化は、実質目的を達成できたと思っております。宮本課長様をはじめ化学課の皆様方のご協力ご指導の賜物と感謝申し上げますとともに、積極的に応援してくださいました連合会傘下の4団体の皆様にも厚く御礼申し上げます。またTPPは、野田総理が参加のテーブルに付く旨表

明し一歩前進しました。野田総理が強力な指導力を発揮して、実現してくれるよう希望してやみません。最後に今年の見通しは如何でしょうか。2年間位は震災特需で好調といわれていますが、現在の対ドル、対ユーロの円高が解消されませんと輸出産業を中心に利益が減少し空洞化もますます進展していくものと思います。なんとしてもTPPへの参加を実現させ、少しでも輸出産業の業績を好転させることが必要であると考えています。今年も厳しい年になると思いますが、ここで立ち止まったら進歩はありません。衰退があるのみです。全力でがんばって前進していきましょう」と述べた。

続いて来賓を代表して経済産業省宮本化学課長より、新年の挨拶と中小企業に対する施策が述べられた。その後祝宴に移り後藤副会長（中部日本）の乾杯で開宴となった。

最後に大野副会長（東日本）の中締めで閉会となった。

新年賀詞交歓会に先立ち3時から理事会、勉強会を開催し、稲畑産業㈱の尾崎執行役員を講師に招き、「東南アジアの現況について」のテーマで、各国の経済及び日系企業の現状などを詳しく聴いた。最後に海外子会社社長の要件として重要な30ほどの管理項目を示された。




挨拶する五十嵐会長

TOYO
CSいちばん宣言!
Customer Satisfaction ICHIBAN

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機 / 金型
<http://www.toyo-mm.co.jp>
中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市中区社が丘1-1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

射出成形機とホットプレス機の製造・販売

射出機の「^{いま}現在」を創り、
「^{これから}未来」を変えていく。

 株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(代) FAX(0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

後期技能検定を実施

後期技能検定の射出成形3級実技試験は、南区の検定会場で12月7～9日の3日間講習会が開催され31名が受講した。実技試験は同じ会場で14～16日の3日間実施され31名（今年も岐阜県より3名受託）が受検した。概ね良好な成績であった。

また、ブロー成形の実技試験は、1月24～26日の2日間、名古屋市工業研究所の中間実験工場で開催され、1級1名、2級5名が受検した。

試験に先立ち2日間予備講習会を開催、受検者全員が参加した。1月31日採点会議が名古屋市工業研究所第2会議室で開催され、13名が出席して製品の採点を行った。

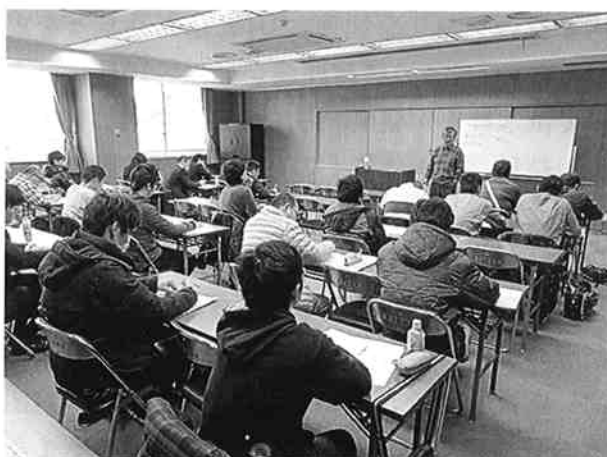
2月5日に実施される学科試験（1・2・3級）の対策として学科予備講習会を1月11日名古屋市工業研究所で開催し、合計35名が受講した。



3級射出成形作業



ブロー成形作業



学科講習会

平成24年度訓練生募集中

〈成形技能者養成プロジェクト〉

平成24年度の訓練生を現在募集中ですが、皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

【訓練の種類】

1. 向上訓練（通信制）〈1級・2級技能士課程〉

▽特典＝技能検定学科試験免除。

2. 養成訓練（通学制）〈普通課程〉

▽特典＝技能検定学科試験2級免除、技能検定受検資格の実務経験の短縮。

【問合せ先】

中部日本プラスチック職業訓練校事務局

TEL〈052〉654-8155 FAX〈052〉654-8140

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012

TEL〈052〉931-1211(代)

FAX〈052〉930-1975

スケッチ

『お客様に信頼・感謝される物づくり』

三扇化学株式会社
代表取締役 児玉康彦

射出成形・圧縮成形のプラスチック製品の製造・販売を行う三扇化学株式会社は、昭和27年に創業（名古屋市千種区）、業績の拡大に伴い昭和57年に小牧市小木へ移転し操業していたが、更なる業績の拡大により平成14年に小牧市西之島へ移転し、今年ちょうど10年になり現在に至る。

「品質方針」

- ・自分の仕事に責任を持って、他人に迷惑をかけるな！
- ・お客様に感謝される仕事をする！（品質保証）
- ・どうしたらできるか考える！（科学）
- ・1個足りとも不良を作らない！
- ・1個足りとも不良を見逃さない！

社員全員が「品質第一」に徹し、お客様の信頼と満足を得る品質を提供する。

この品質方針の基に品質実績はインターホンなどの白物外観品は年間不良率は3PPM、レー



木造住宅用接合こみ栓

ザービームプリンターの超精密機能部品などは年間3,600万個納入で0.01PPMを維持しています。

1992年5月1日より全社QCサー

クル活動を始めました。毎年1回のサークル活動発表会を行い、社員のモチベーションアップに実績を残しています。



人材教育には積極的に全員がセミナー、研修に参加出来る環境を作っており、社員が得意先の工場などを見学させて頂き弊社の納入品がどのように使われているかを理解し品質は当然当たり前、そのほかに何が提供出来れば良いのかを考える事をしています。

後工程は大事なお客様ですを常に思い、いい仕事をする事を全社員が目標にしております。

毎月15日は「5Sの日」として日々の活動を意義のあるものとしています。

地域に協力、貢献をして、環境方針を守り、日々実践しております。

弊社の作る成形品の優秀さをぜひ試して頂ければ、納得されることでしょう。

製品はインターホン・レーザービームプリンター・木造建築住宅用接合こみ栓・浄水器・自動車・医療機器など様々な物を生産しており、印刷・溶着・半田付けなどの2次加工も得意とします。

昨年秋に導入した三次元測定機により、品質管理体制の強化をしています。

お客様に信頼・感謝される仕事を継続しております。

主要生産設備：2色射出成形機120t、200t各1台。電動&ハイブリッド可塑性射出成形機（40t～220t）30台



株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

取出用ロボット・FAシステムの総合開発



株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587 (95) 7557 FAX 0587 (96) 1291

浜松営業所 TEL 053 (432) 6131 富山出張所 TEL 076 (492) 3260

静岡出張所 TEL 054 (289) 2241

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587 (95) 7551(代)
出雲工場 /〒699-0631 島根県簸川郡斐川町大字直江町3538 TEL0853 (72) 4311

<http://www.starseiki.com>

職業訓練校「向上訓練スクーリング」

向上訓練（通信制）のスクーリングが、1月28・29日と2月4・5日の4日間「愛知県職業訓練会館」で実施され、1級14名、2級33名が午前9時30分から午後4時30分まで講師から直接指導を受けた。最終日の午後には修了試験が行われ、後日採点会議を開き、合否が決定した。

プラスチック概論見学レポート

養成訓練は12月16日『プラスチック概論』の授業で、刈谷市にあるあいち産業科学技術総合センターにて試験片を作り、引張り試験・曲げ試験・衝撃試験の実験をした。

まず油圧成形機で成形条件を変えて2本、型に離型材を塗って1本作った。午後から定温、定湿度の試験室で専用の試験機を使用し、引張り試験・曲げ試験・衝撃試験を行った。



熱心に講師の話を聞く訓練生

〈和泉化成見学レポート〉

養成訓練では生産工学概論の授業で、1月13日に一宮市の和泉化成を見学した。

■山宗(株)：T.S

見学して勉強になったのは、徹底した管理体制でした。成形機への材料供給を一括して行ったり、ガムテープ1つ1つまで在庫管理されているのには驚きました。また、出荷までを円滑に進めるために、製品を梱包している段ボールにバーコードを付け、倉庫に製品が幾つあるかを把握し、注文票との確認の際もそのバーコードを用いて間違いのないように確認できる環境で

した。このように物流システムが整っていると、コストだけでなくお客様からの信頼も得られると感じました。

■(株)西浦化学：T.O

成形生産工程において、各作業員個人に品質責任を持たせ、完成品、梱包までされており、1人1人の品質のレベルが高く素晴らしいと思いました。我が社においては、環境、生産体制等違いがあり、成形工程では工数の関係上製品の全数検査は出来ず、後工程の組み付け、検査工程に任せる生産になっています。よって各作業員の責任意識も低い感じがします。今後、品質に対する個人レベルを上げ、工程内不良低減を進めていきたいと思いました。

また成形現場にて、成形機3台がクリーンルームに設置されており、ホコリのないスペースで成形生産が行われていました。我が社においても、自動車の内装部品の成形にて異物問題が発生しており、対策には苦勞しています。クリーンルーム設置まではできませんが、異物混入の恐れがある箇所カバーを設置し、日々の3Sの徹底を進めていきたいと思いました。

■山宗(株)：J.H

同社では100円ショップの製品や生活雑貨などを主に製造していました。100円ショップの製品の成形には材料の搬入から成形、在庫管理、出荷まで全てのコストを最低限に抑えなければ利益が生まれないので、様々な工夫をしている事が分かりました。同社で見学した事をこれからの業務に生かしていきたいと思えます。



和泉化成で服部会長から説明を聞く



左から杉本さん・柴田さん・夫馬さん

会社名：(株)大京化学
氏名：杉本 進 33歳
職務内容：製造部2課1係
入社日：平成19年2月

氏名：柴田 治彦 36歳
職務内容：製造部1課
入社日：平成20年11月

氏名：夫馬 康史 29歳
職務内容：製造部2課3係
入社日：平成23年7月

Q、入社時の思い出

杉本：今まで製造業に携わった事がなかったので、仕事を覚えられるか心配だった。



柴田：初めての業種だったので不安があったが、先輩からの「頑張れよ」の一言で安心出来ました。

夫馬：右も左も分からず不安でしたが、「最初から出来る人はいない」とジョーク混じりに励まして貰い安心して入

社出来ました。

Q、会社の雰囲気

杉本：私たちの事を考えて指導してくれます（部署関係なく仲良くして貰ってます）。

柴田：明るく、先輩・後輩関係無く、気軽に声を掛けて貰える働き易い職場です。



夫馬：どんな事も気軽に相談出来る。困った時は、上司・先輩方が助けてくれるので安心感がある。

Q、仕事で自信になった事

杉本：上司から任された仕事を最後までやりきった時、自信に繋がりました。

柴田：仕事を任せられ、その仕事がうまく行った時、自信に繋がった。



夫馬：図面を見て製品を完成出来た時、自信が持て嬉しかった。

Q、今後の希望

杉本：今まで携わっていない仕事も前向きに捉え、いつか指導出来る立場に立ちたいです。

柴田：全ての仕事を覚え、教えられる立場から、教える立場に成長して行きたい。

夫馬：先輩方から自分が教わった様に、自分が後輩に教えられる技術を身に付けたい。

《平成23年10～12月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 250 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	79 社	神奈川県	30 社	中部日本	68 社	西日本	73 社
-----	------	------	------	------	------	-----	------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	32 社	包装用容器・キャップ	37 社	電気・電子・通信部品	58 社
自動車・輸送機器部品	81 社	住宅関連	8 社	医療機器	7 社
その他	24 社				

3. 従業員数の内訳

20人未満	53 社	21～50人	64 社	51～100人	52 社	101～300人	48 社	301人以上	19 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

4. 今期(平成23年10～12月)の自社業績について<右の数字は前回の結果です>

	平成23年10～12月(実績)											
	前期(平成23年7～9月)比						前年同期(平成22年10～12月)比					
①生産・売上高	1. 増加		2. 横這		3. 減少		1. 増加		2. 横這		3. 減少	
	26.4	38.7	40.8	29.3	32.4	30.8	29.6	29.3	32.0	33.1	37.2	35.7
②製品単価	1. 上昇		2. 不変		3. 下落		1. 上昇		2. 不変		3. 下落	
	3.6	6.4	75.6	71.4	20.8	20.3	6.4	8.3	62.8	60.5	28.4	28.2
③採算	1. 好転		2. 横這		3. 悪化		1. 好転		2. 横這		3. 悪化	
	15.2	23.3	55.2	45.1	29.6	30.5	14.4	18.0	43.2	37.2	40.4	41.7
④所定外労働時間	1. 増加		2. 横這		3. 減少		1. 増加		2. 横這		3. 減少	
	22.4	28.2	52.0	47.0	25.2	23.3	20.8	21.8	52.0	50.8	25.2	24.1
⑤製品在庫	1. 増加		2. 不変		3. 減少		1. 増加		2. 不変		3. 減少	
	18.0	18.0	63.2	55.3	18.8	25.2	20.4	15.4	56.8	57.5	20.4	24.1
⑥樹脂原料単価	1. 上昇		2. 横這		3. 下落		1. 上昇		2. 横這		3. 下落	
	36.0	53.0	56.8	42.9	7.2	2.6	50.8	60.2	41.6	33.1	5.6	3.4
⑦総合判断	1. 好転		2. 横這		3. 悪化		1. 好転		2. 横這		3. 悪化	
	13.2	22.9	53.2	43.6	32.8	30.5	14.0	17.3	44.8	39.5	37.6	38.7
⑧来期の見通し (24/1～3の見通し)	1. 好転		2. 横這		3. 悪化							
	11.6	21.1	53.2	50.4	31.6	21.1						

5. 当面の経営上の問題点(%)<右の数字は前回の結果です>

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争					
50.0	45.5	5.2	4.1	42.0	44.0	6.4	6.8	20.4	21.4
6. 輸入品との競合	7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 貸し渋り					
12.0	14.7	7.2	6.4	39.6	53.0	11.2	6.8	0.8	0.8
11. 人件費高	12. 技能者不足	13. 技術力不足	14. マーケティング力不足	15. 設備過剰					
15.2	13.9	15.2	18.8	10.8	12.4	8.8	6.4	3.2	2.6
16. 法的規制	17. 為替問題	18. 環境問題	19. 人材育成	20. 研究開発					
1.6	1.5	17.6	12.8	3.2	2.6	32.0	24.8	6.0	6.4
21. 事業承継	22. その他								
4.4	6.0	4.4	3.4						

22. その他の意見

売上品目の片寄り、設備老朽化、景況に関係なく法規制だけが厳しくなる、電力不足、東電の値上げは大問題、営業力不足、22年10～12月は特別な受注があった、海外移管・顧客の海外展開、大幅な受注量の増加に伴う設備、人員対応、

**技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業**
プラスチック、セラミックス、MIM金型

株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市長区鳴海町下汐田177番地
TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

第一生命保険株式会社

ホームページ
<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

それぞれの生き方に、
いつもベストな備え方。

各分類ごとの経営上の問題点(平成23年10~12月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	自動車	住宅関連	医療機器	その他
売上不振	50.0	54.1	45.9	52.3	34.6	44.4	37.5	46.4
輸出不振	5.2	8.1	5.4	1.5	3.8	0.0	12.5	0.0
製品・請負単価安	42.0	37.8	37.8	43.1	55.1	55.6	0.0	46.4
取引条件悪化	6.4	5.4	5.4	3.1	11.5	11.1	0.0	7.1
過当競争	20.4	18.9	24.3	20.0	28.2	33.3	0.0	10.7
輸入品との競合	12.0	18.9	8.1	18.5	10.3	33.3	0.0	17.9
流通経費増大	7.2	8.1	2.7	9.2	7.7	0.0	0.0	3.6
原材料高	39.6	62.2	64.9	55.4	44.9	66.7	37.5	46.4
借入負担増	11.2	0.0	5.4	3.1	12.8	11.1	0.0	10.7
貸し渋り	0.8	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費高	15.2	2.7	10.8	16.9	20.5	0.0	12.5	10.7
技能者不足	15.2	13.5	21.6	15.4	25.6	11.1	37.5	10.7
技術力不足	10.8	8.1	13.5	9.2	16.7	11.1	25.0	10.7
マーケティング力不足	8.8	8.1	5.4	3.1	5.1	0.0	12.5	14.3
設備過剰	3.2	0.0	2.7	6.2	2.6	0.0	0.0	0.0
法的規制	1.6	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	3.6
為替問題	17.6	10.8	2.7	21.5	14.1	0.0	12.5	10.7
環境問題	3.2	0.0	2.7	7.7	1.3	0.0	0.0	0.0
人材育成	32.0	18.9	24.3	30.8	24.4	33.3	25.0	14.3
研究開発	6.0	8.1	5.4	6.2	1.3	0.0	12.5	21.4
事業承継	4.4	2.7	8.1	3.1	9.0	0.0	0.0	10.7

プラスチック用産業合理化機器メーカー
 **NAKAMURA**
中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch
 〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字高塚101 〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37
 TEL(0564)31-2919 TEL(042)620-5466
 FAX(0564)31-9435 FAX(042)620-5461
 URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

 中央三井信託銀行

名古屋支店 TEL.052-242-7311
 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

6. 平成24年業績向上のキーワード

経 営

グローバル
 イノベーション
 発送の転換
 変化への対応
 世界の変化に敏感に対応する
 海外業務提携
 工夫と変革で進化する企業を目指す
 問題の見える化
 運営システムの改革
 ゼロベースの体制見直し
 人・モノ・金の合理化
 付加価値の増加
 新規事業の立ち上げ
 差別化
 情報入手
 スピード
 迅速な行動
 事業承継
 効率改善
 危機管理体制
 過当競争回避
 原料在庫戦略
 収益力強化
 効率的な仕事で利益確保
 海外企業（中国）からの利益還元
 利益確保（安定した）
 借入負担減
 新興国市場への対応
 会社を守る
 堅実経営
 適正企業規模
 売上高に比例した経費節減
 やせ我慢の経営をしていく
 会社の総力結集
 組織再編
 組織の活性化
 生活・雇用を守る
 各自業務の棚卸し
 脱日本
 脱下請け

エリアを選ぶ
 Webshop（顧客直売）
 新しい出会い（人・顧客・ビジネス）
 異業種への展開
 福祉市場
 海外展開
 取引先の開拓（国内外）
 直接交渉（仲介を飛び越える）
 高齢者から若年層への移行による営業力の強化
 顧客重視
 新規顧客開拓
 新規受注の開拓
 新規製品の受注活動・拡大
 営業力深耕
 顧客満足向上
 顧客の視点で物事を考え満足を図る
 提案型の開発営業
 開発商品で顧客を増やす
 海外で作れない製品を作る
 市場の要求に対応する
 客先からの信用を得る
 出来ないと言わない物づくり
 値上げ

人 材 育 成

教育による人的資源の質の向上
 5Sの徹底
 技術の伝承と人材育成
 グローバル人材の育成
 技能者から技術士へのレベルアップ
 固有技術者の育成
 やりとげるパワー
 人材育成
 社員教育による人材の育成
 人材補強
 人材の確保
 管理品質向上（社員教育）
 社員の世代バランスの再構築モチベーション向上
 対話の向上
 日本人の人材不足の解消（中小企業の人材難）
 社員の世代バランスの再構築

営 業

営業力強化
 売上確保
 売上増加
 海外を含めた受注拡大
 新製品の販売強化
 販路拡充

研 究 開 発

新しい加工法を作り出す
 オンリーワンの技術・製品
 技術力
 研究開発
 技術力向上
 開発

競争力あるアイテムの量産化
 開発力強化
 技術革新
 開発力（技術・製品・サービス）
 自社製品開発
 新製品の開発
 社外の人を採り、開発・企画を強化
 競争力アップ
 新技術の用途開発
 「造る」から「創り出す」へ
 部品を完成品まで手がける

生産品質コスト

改善の継続
 生産性の向上
 生産力向上
 改善・工数低減の推進
 海外工場進出
 海外生産
 現場力の増強
 工程安定化
 国内生産
 機械レイアウト変更
 合理化
 海外工場の事業規模の拡大
 設備導入による生産能力UP
 作業効率向上
 自動化・省人化
 製品設計から金型/成形の二次加工まで一貫生産
 生産部門の集約
 製造設備の充実を計る
 成形稼働率の向上
 設備稼働率向上
 他品種少量生産に特化
 電気設備の変更
 二次元加工・部品調達の総合的な利便性による
 コストパフォーマンスの確率
 省電力・省エネ
 節電
 限りなき改善でQDを達成
 コストの意識
 適切なコストの回復
 原価低減
 製品コストの見直し
 時間外労働の低減
 材料統一化
 材料費削減
 人員削減・人件費削減
 3Mの見直し

少数精鋭を目指した合理化
 生産コスト低減のための合理化
 円高対応・CD改善
 在庫削減
 納期厳守
 納期のリードタイムを短くする
 納期短縮
 デリバリー力の強化
 品質管理
 クレームなし
 品質向上
 不良撲滅・削減
 不良品を減らす地道な努力
 品質・品質（確認）
 品質水準を維持する
 品質の追求安定
 安全・品質・納期
 安定製品

全 般

環境問題・環境
 廃材のリサイクル
 高齢化
 意識改革
 結束
 チャレンジ精神
 チャージ（充電・蓄える）
 チャレンジ（挑戦）
 チェンジ（変革）
 平常心
 低き安定
 基本に忠実
 リズムとバランス
 リスク管理、震災/タイ水害で生産減/売上減による
 取引先与信管理
 目配り・気配り
 自立
 柔軟性
 少ロット
 社会貢献
 存在価値の発見
 まじめな物づくりによる社会への貢献
 良い社員・良い製品
 物作りの原点
 景気回復

各分類ごとの業況判断(平成23年10～12月期)＜前期比・前年同期比＞

1. 数字は単純平均%で表示しております

	全体			団 体 別			製 品 別																		
	全 体			中 部 日 本		東 日 本		神 奈 川 県		西 日 本		日 雑 貨 類		容 器 包 装		電 信 氣 ・ 電 子		自 動 車		住 宅 関 連		医 療 機 器		そ の 他	
	前期比	前年比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
生産高 売上高	増加	26.4	29.6	32.4	38.2	22.8	29.1	16.7	20.0	28.8	26.0	21.6	24.3	18.9	27.0	30.8	29.2	67.9	33.3	22.3	33.3	37.5	25.0	35.7	28.6
	横這	40.8	32.0	44.1	29.4	35.4	30.4	56.7	26.7	37.0	38.4	35.1	45.9	43.2	40.5	32.3	21.5	10.3	28.2	33.3	55.6	50.0	12.5	35.7	46.4
	減少	32.4	37.2	23.5	29.4	41.8	40.5	26.7	50.0	32.9	35.6	43.2	27.0	35.1	32.4	33.8	47.7	21.8	35.9	44.4	11.1	12.5	50.0	28.6	25.0
製品単価	上昇	3.6	6.4	2.9	4.4	2.5	6.3	3.3	3.3	5.5	9.6	8.1	8.1	13.5	13.5	3.1	4.6	5.1	5.1	0.0	11.1	12.5	12.5	3.6	14.3
	不変	75.6	62.8	72.1	67.6	72.2	54.4	90.0	66.7	76.7	65.8	78.4	75.7	70.3	70.3	66.2	55.4	66.7	43.6	66.7	66.7	87.5	75.0	89.3	78.6
	下降	20.8	28.4	25.0	26.5	25.3	39.2	6.7	13.3	17.8	24.7	13.5	13.5	13.5	16.2	26.2	33.8	26.9	48.7	33.3	22.2	0.0	0.0	7.1	7.1
採 算	好転	15.2	14.4	16.2	16.2	11.4	7.6	13.3	13.3	19.2	20.5	16.2	21.6	10.8	10.8	20.0	16.9	43.6	19.2	11.1	22.2	25.0	25.0	7.1	21.4
	横這	55.2	43.2	57.4	41.2	49.4	44.3	66.7	36.7	54.8	46.6	45.9	32.4	45.9	43.2	49.2	40.0	30.8	33.3	33.3	11.1	62.5	12.5	67.9	46.4
	悪化	29.6	40.4	26.5	41.2	39.2	48.1	20.0	36.7	26.0	32.9	37.8	43.2	40.5	40.5	27.7	38.5	25.6	46.2	55.6	66.7	12.5	50.0	25.0	32.1
所定外 労働時間	増加	22.4	20.8	30.9	35.3	26.6	17.7	10.0	10.0	15.1	15.1	10.8	18.9	10.8	10.8	26.2	21.5	57.7	30.8	0.0	22.2	12.5	12.5	14.3	17.9
	横這	52.0	52.0	45.6	36.8	45.6	58.2	60.0	50.0	61.6	60.3	59.5	45.9	56.8	67.6	41.5	43.1	24.4	43.6	66.7	55.6	62.5	50.0	78.6	71.4
	減少	25.2	25.2	23.5	26.5	27.8	24.1	30.0	26.7	21.9	24.7	29.7	32.4	29.7	18.9	29.2	30.8	16.7	21.8	33.3	22.2	25.0	25.0	7.1	10.7
製品在庫	増加	18.0	20.4	14.7	17.6	25.3	27.8	10.0	6.7	16.4	20.5	21.6	18.9	16.2	21.6	13.8	12.3	24.4	14.1	0.0	22.2	12.5	12.5	17.9	14.3
	横這	63.2	56.8	67.6	55.9	54.4	54.4	56.7	50.0	71.2	63.0	45.9	43.2	64.9	59.5	53.8	52.3	51.3	64.1	77.8	66.7	37.5	50.0	67.9	64.3
	減少	18.8	20.4	17.6	23.5	20.3	17.7	33.3	30.0	12.3	16.4	29.7	32.4	16.2	16.2	29.2	30.8	24.4	20.5	22.2	11.1	50.0	25.0	14.3	21.4
材 料 調達単価	上昇	36.0	50.8	36.8	52.9	46.8	64.6	30.0	43.3	26.0	37.0	51.4	56.8	48.6	59.5	52.3	53.8	52.6	57.7	88.9	100.0	50.0	50.0	53.6	75.0
	横這	56.8	41.6	58.8	42.6	50.6	34.2	66.7	36.7	57.5	50.7	48.6	40.5	45.9	32.4	41.5	40.0	43.6	35.9	11.1	0.0	37.5	12.5	42.9	17.9
	下落	7.2	5.6	4.4	2.9	2.5	1.3	3.3	6.7	16.4	12.3	0.0	0.0	0.0	5.4	3.1	1.5	2.6	2.6	0.0	0.0	12.5	25.0	3.6	7.1
総合判断	好転	13.2	14.0	11.8	14.7	12.7	11.4	13.3	20.0	15.1	13.7	13.5	18.9	8.1	13.5	16.9	15.4	47.4	17.9	11.1	22.2	25.0	25.0	7.1	17.9
	横這	53.2	44.8	55.9	47.1	51.9	44.3	56.7	33.3	50.7	47.9	43.2	37.8	51.4	40.5	47.7	35.4	26.9	42.3	22.2	33.3	62.5	12.5	64.3	46.4
	悪化	32.8	37.6	32.4	35.3	35.4	44.3	30.0	33.3	31.5	34.2	43.2	37.8	37.8	43.2	27.7	40.0	23.1	38.5	66.7	44.4	12.5	50.0	28.6	32.1
来期の 見通し	好転	11.6		19.1		6.3		13.3		9.6		16.2		10.8		12.3		41.0		22.2		0.0		10.7	
	横這	53.2		50.0		58.2		53.3		50.7		54.1		59.5		52.3		39.7		33.3		75.0		53.6	
	悪化	31.6		23.5		34.2		30.0		37.0		21.6		24.3		30.8		10.3		22.2		12.5		28.6	

尾原成夫氏(オハラ樹脂工業)が優勝

プラス会 第251回例会

開催日 12月8日(木)
 場所 桑名カントリー倶楽部
 スタート 午前8時05分
 参加者 22名
 天候 曇り時々晴れ、風速やや強し
 気温 最高12.3℃
 優勝 尾原成夫氏(オハラ樹脂工業)

年末懇親会：千とせ家錦店、参加者15名



優勝した尾原成夫氏(右)

平成23年12月8日(木)「桑名カントリー倶楽部」

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	オハラ樹脂工業	尾原 成夫	42	42	84	19	65
2位	日精樹脂工業	丹波 義久	34	41	75	9	66
3位	大塚ファブテック	井上 貴隆	42	45	87	20	67
4位	東洋理工	横山真喜男	42	46	88	20	68
5位	玉野化成	玉野 直樹	36	37	73	3	70

DJK 第一実業株式会社

本社 東京都千代田区二番町11-19 ☎102-0084 ☎ダイヤルイン・東京(03)5214-8500
 大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) ☎530-0047 ☎ダイヤルイン・大阪(06)366-2800(受付案内台)
 札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(札石ビル) ☎060-0061 ☎(011)241-2435(代表)
 名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋フロントタワー) ☎460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
 広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) ☎730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
 営業所 仙台・静岡・四国・福岡
 出張所 滋賀・北関東

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

- 11月16日(名古屋市工業研究所) 30名
- (1)平成24年新年賀詞交歓会及び講演会の実施要領について審議、全員一致で承認。
 - (2)後藤会長の推薦のMULインシュアランス(株)名古屋支店の賛助会員新規入会について説明、全員一致で承認。
 - (3)第48回永年勤続優良従業員表彰式の出席状況について、事務局より報告。受賞者の出席が総数の半分以下であり、曜日変更など総務委員会・理事会で検討。
 - (4)事務局より(財)名古屋産業振興公社の中小企業技能者育成講座の受講者名簿について説明。11月9日より開始していると報告。
 - (5)後藤会長より11月15日金沢市で開催の中部地区業界団体懇談会について報告。次回(来年)は岐阜県での開催が決定。
 - (6)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告等。
- 12月21日(名古屋国際ホテル) 28名
- (1)平成24年度年間行事日程について事務局より説明があり、審議の結果、全員一致で承認。
 - (2)役員改選の年度なので役員候補者選衡委員会の設置について全員一致で承認。
 - (3)第7回優秀従業員表彰の実施要領についての説明が事務局よりあり、審議の結果、全員一致で承認。
 - (4)11月理事会で検討課題の永年勤続優良従業員表彰式の開催日などについての総務委員会の

PLASTICS WORLD YAMASO

山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 ☎462-0825
 TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
 東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海
 営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
 茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

検討結果について説明。審議の結果、全員一致で承認。

(5)協会創立55周年事業について記念式典を平成25年の新年賀詞交歓会と同時開催とし、別途チャリティゴルフ及びボーリング大会の開催を全員一致で承認。

(6)事務局より平成24年新年賀詞交歓会の実施要領などについて報告。

(7)事務局より第48回永年勤続優良従業員表彰の収支について説明。

(8)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告等。

〈終了後、役員年末懇親会を実施〉

▼新年賀詞交歓会

1月18日（名古屋国際ホテル）

〈詳細は本文記事を参照〉

▼総務委員会

12月15日（名古屋市工業研究所） 8名

(1)21日の理事会の審議案件について討議。

(2)その他

▼文化広報委員会

12月21日（名古屋国際ホテル） 8名

(1)第90号の反省と第91号(新年賀詞交歓特集号)の編集状況と第92号の企画、方針について検討。

(2)その他

▼技能検定委員会

12月5日（名古屋市工業研究所） 11名

(1)ブロー成形の検定について開催。

(2)その他

2月3日（名古屋市工業研究所） 21名

(1)平成24年度技能検定実施計画について

(2)実技試験実施要領について

(3)実技講習会について

(4)その他

【全日本プラスチック製品工業連合会】

▼第168回理事会

1月24日（八重洲富士屋ホテル）

(1)新年賀詞交歓会について

(2)次回理事会は4月11日大阪で開催。

(3)第51回通常総会は6月7日ヒルトン大阪で開催
〈終了後 新年賀詞交歓会 本文記事参照〉

▼技能検定推進委員会

11月29日（八重洲富士屋ホテル） 児玉副委員長

(1)前期技能検定実施状況報告。

(2)その他

▼中央技能検定委員会

11月28日（中央職業能力開発協会） 児玉委員

(1)平成24年度の射出成形作業の採点項目及び減点数の変更がなされたと報告。

(2)その他

告 知 板

【本社移転】

▽正会員 第8支部 (株)鈴木化学工業所
〒444-0122

愛知県額田郡幸田町大字六栗字左右作2番地1
TEL<0564>64-1058 FAX<0564>64-1010

【代表者変更】

▽正会員 第8支部 本多プラス(株)

代表取締役会長 本多克弘

代表取締役社長 本多孝充

【社名・代表者変更】

▽正会員 第4支部

(株)ミツバ化学（旧社名 三葉化学工業(株)）

代表取締役 浅岡淳一

愛知県プラスチック成形工業組合が平成2年に設立した

ゆたかな老後の生活を守る

愛知県プラスチック成形厚生年金基金

名古屋市中区新栄町2丁目13番地

(栄第一生命ビル)

TEL(052)953-8411

FAX(052)953-8417